

みんなのいいところ ぼくのいいところ

見能林小学校 二年

咲田 惺来 さきた せら

（敬称略）

先生が、「ええところ」という絵本を読んできました。しゅじんこうのあいちゃん、自分のいいところがないと思っていました。けれど、ともだちのともちゃんは、あいちゃんのいいところを見つけていました。ともちゃんは、自分の手がつめたくなっても、みんなの手をあたためたところ、あいちゃんのやさしいところだよと言いました。あいちゃんは、いいところがないと思っていたけれど、いいところがいっぱいあってよかったです。

どうとくるときにならった「ミーボーしんぶん」のぼくにも、いいところがいっぱいありました。このぼくは、さかなくんのことでした。小さい時から魚のことをしらべて、今はテレビのばん組にも出て、魚のことを教えています。自分のいいところをのぼして、みんなをよろこばせてすごいと思います。いいところをつづけていくとゆめがかなうんだなと思いました。

自分のいいところも考えてみました。いいところがたくさんありました。歌がうまいところ。スポーツがうまいところ。ペンきょうがすきなところ。家にかえって、お母さんにも聞いてみました。すると、もつともつと言ってくれました。だれとでもすぐなかよくなれるところ、こまっている人がいたら声をかけるところ。やきゅうがすきなところ。などです。ぼくが気づいていない、いいところをいっぱいみつけてくれていました。とても、うれしかったです。

ぼくだけでなく、ぼくのとちにもいいところがあります。ゆうじくんは、空手をがんばっています。大ちゃんは、足がはやいです。よこ手さんは、そうじをいつもていねいしています。ともだちにもいいところがいっぱいあります。あいちゃんもさかなくんもぼくたちもみんなにそれぞれ、いいところがありました。みんなすごいです。ぼくは、これからもっと、自分のいいところをみつきたいです。そして、ゆめをかなえたいです。